



敬老会が開催されました

9月12日(金)、町体育館で敬老会を行いました。今年も町内の70歳以上の方を体育館に招待し、88歳の米寿を迎えた方には町から記念品や賞状を贈呈。また、第三保育所に通う子どもたちが手作りのレイをプレゼントする場面もありました。

記念式典のあとは漫才や歌謡ショーなどお楽しみの間もあり、参加された皆さんには笑顔があふれていました。

今月の主な内容

- 町長・町議会議員選挙結果 P 2
- 平成25年度決算 P 4
- 11月は児童虐待防止月間です P 8
- バス・エコファミリーでエコなおでかけ！ P 10
- 「城」フォトコンテスト P 10
- アロマセラピー&ヨガ教室 P 11
- 排水設備の工事には町への届出が必要です P 11
- 11月2日回は役場周辺へお越しください P 12
- 自転車駐車場を利用しましょう P 13
- 乙訓ふるさとふれあい駅伝 P 14
- 福祉街頭啓発と映画の上映を行います P 15
- ブッシュ・ド・ノエルを作ろう！ P 15

皆さんが選んだ町長・町議会議員を紹介します

町長・町議会議員 選挙結果

任期満了に伴う大山崎町長選挙および大山崎町議会議員一般選挙の開票を10月19日に行いました。町長選挙では山本圭一さん（無所属）が、町議会議員一般選挙では現職7人、新人3人、元職2人の計12人が当選。任期は、町長が12月5日から4年間、町議会議員が10月24日から4年間です。

問II町選挙管理委員会 ☎056-2101（内321）
※各人のプロフィール欄は①住所②年齢③所属党派④当選回数。町議会議員の紹介は右上から左下に向かって横方向に届出順

大山崎町長

（任期は12月5日から4年間）



山本 圭一さん

—やまもと けいいち—

①円明寺小字西法寺1番地13 3-202
②41
③無所属
④1

町長選挙開票結果

	候補者名	得票数
当	山本 けいいち	3,603
	堀内 こうきち	2,044
	竹内 ひろし	1,796

町議会議員一般選挙開票結果

※定数12 候補者15

	候補者名	得票数
当	はたの ひさご	910
当	きたむら 吉史	788
当	前川 光	680
当	高木 いさお	538
当	岸 たかお	525
当	西田 てるひろ	515
当	森田 しゅんしょう	512
当	山中 イッセイ	484
当	辻 まりこ	467
当	しぶや 進	465
当	あさこ 直美	441
当	小泉 みつる	432
	神原 郁己	387
	杉谷 りょう	252
	井上 博明	214

今回の大山崎町長選挙において、10月15日（前）午前8時30分から10月17日（後）午後2時45分頃までの間、期日前投票所の投票記載台に掲示した候補者1名の氏名のふりがな表記に誤りがありました。誤りは、すべての候補者の氏名等掲示を点検し、直ちに訂正しました。また、10月19日（後）午後8時の投票終了と同時に本件について公表しました。

このような選挙への信頼を揺るがしかねない事態を招き、有権者をはじめ関係するすべての皆様深くお詫び申し上げますとともに、今後の再発防止に全力を挙げて取り組み、信頼回復に努めてまいります。

大山崎町選挙管理委員会

大山崎町議会議員



森田 俊尚さん

—もりた しゅんしょう—

①下植野小字宮脇99番地
②53
③自由民主党
④4



波多野 底砂さん

—はたの ひさご—

①円明寺小字鳥居前48番地48
②69
③無所属
④2



小泉 満さん

—こいずみ みつる—

①大山崎小字上ノ田19、20合地
②66
③無所属
④2



西田 光宏さん

—にしだ てるひろ—

①大山崎小字西谷3番地3
②55
③無所属
④1



渋谷 進さん

—しぶや すすむ—

①円明寺小字殿山1番地25
②63
③日本共産党
④3



前川 光さん

—まえかわ ひかる—

①大山崎小字西高田3番地6
②58
③無所属
④5



高木 功さん

—たかぎ いさお—

①大山崎小字尻江58番地
②67
③公明党
④3



岸 孝雄さん

—きし たかお—

①円明寺小字里ノ後14番地31
②46
③民主党
④2



山中 一成さん

—やまなか いっせい—

①大山崎小字岩崎28番地4
②48
③無所属
④1



辻 真理子さん

—つじ まりこ—

①大山崎小字西高田5番地7
②36
③日本共産党
④1



朝子 直美さん

—あさこ なおみ—

①円明寺小字山田1番地18
②46
③日本共産党
④3



北村 吉史さん

—きたむら よしふみ—

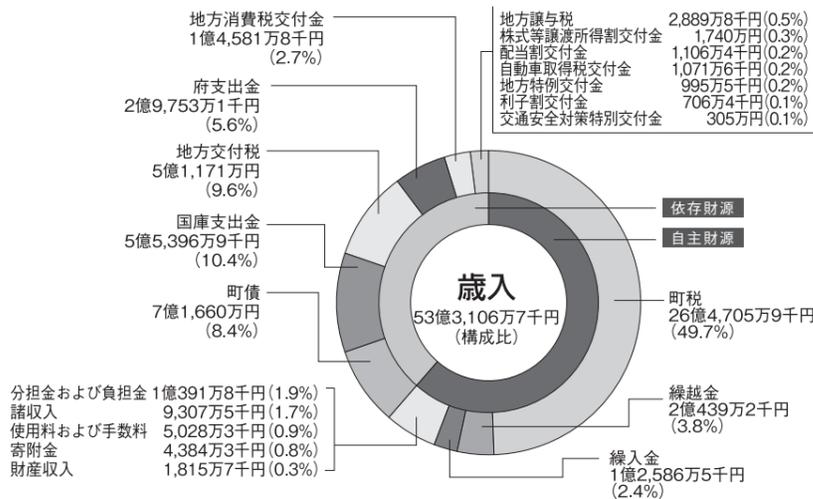
①円明寺小字若宮前10番地11
②53
③自由民主党
④4

投票結果

※上段…町長選挙
下段…町議会議員一般選挙

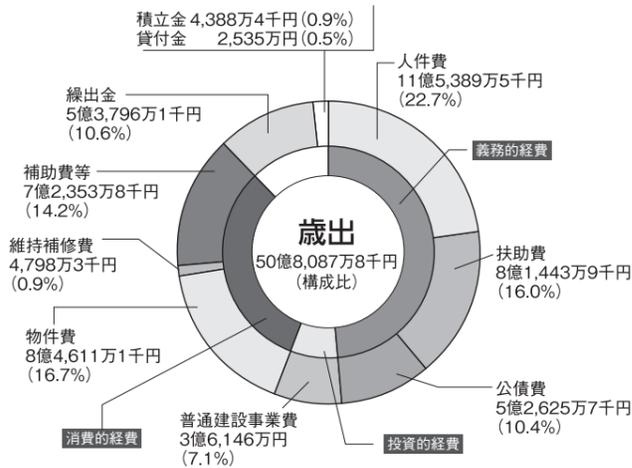
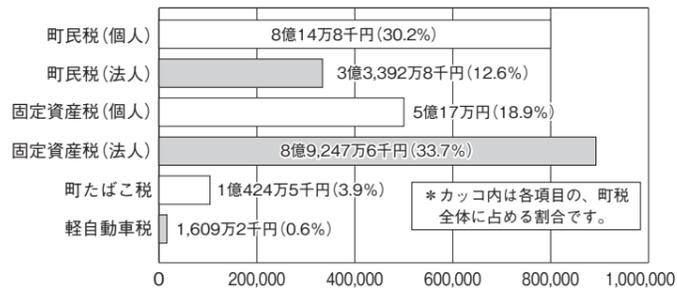
投票区名	投票所名	当日有権者数			投票者数			投票率		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
第1投票区	大山崎ふるさとセンター	1,280	1,332	2,612	675	717	1,392	52.73	53.83	53.29
					675	717	1,392	52.73	53.83	53.29
第2投票区	大山崎町役場	1,648	1,768	3,416	859	922	1,781	52.12	52.15	52.14
					859	922	1,781	52.12	52.15	52.14
第3投票区	円明寺が丘自治会館	2,304	2,607	4,911	1,275	1,466	2,741	55.34	56.23	55.81
					1,275	1,466	2,741	55.34	56.23	55.81
第4投票区	下植野集会所	712	756	1,468	315	361	676	44.24	47.75	46.05
					315	361	676	44.24	47.75	46.05
期日前投票					498	636	1,134			
					497	636	1,133			
計		5,944	6,463	12,407	3,622	4,102	7,724	60.94	63.47	62.26
					3,621	4,102	7,723	60.92	63.47	62.25

※不在者投票分は、第2投票区に含めています



※町債から借換債2億6,930万円を除いています

▽町税(26億4,705万9千円)の内訳



※公債費から借換債2億6,930万円を除いています

▽性質別決算額の比較

	平成25年度	平成24年度	増減率
義務的経費			
人件費	11億5,389万5千円	11億4,346万6千円	0.9%
扶助費	8億1,443万9千円	7億8,801万6千円	3.4%
公債費	5億2,625万7千円	5億0,009万3千円	5.2%
小計	24億9,459万1千円	24億3,157万5千円	2.6%
物件費	8億4,611万1千円	8億3,468万2千円	1.4%
補助費等	7億2,353万8千円	7億1,561万4千円	1.1%
積立金	4,388万4千円	2,443万7千円	79.6%
繰出金	5億3,796万1千円	6億2,267万5千円	-13.6%
投資的経費	3億6,146万円	3億6,014万5千円	0.4%
その他	7,333万3千円	7,126万2千円	2.9%
合計	50億8,087万8千円	50億6,039万1千円	0.4%

※平成25年度は公債費から借換債2億6,930万円を除いています

平成25年度

決算

問=政策総務課財政係

☎956-2101 (内341・345)

平成25年度大山崎町各会計別決算が、平成26年町議会第3回定例会で認定されました。



一般会計【収支】

実質単年度収支は
平成17年度以来の赤字

決算収支は、歳入決算額が56億36万7千円で前年度比3億3,558万4千円、6・4%の増。歳出決算額が53億5,017万8千円で前年度比2億8,978万7千円、5・7%の増となりました。なお、歳入・歳出総額には、町債の借換債2億6,930万円がそれぞれ含まれており、総額の対前年度比較において増額となった主な要因となっています。

歳入歳出差引額(形式収支)はプラス2億5,018万9千円、翌年度へ繰り越すべきものを除いた実質収支は、歳入決算額が56億36万7千円で前年度比3億3,558万4千円、6・4%の増。歳出決算額が53億5,017万8千円で前年度比2億8,978万7千円、5・7%の増となりました。なお、歳入・歳出総額には、町債の借換債2億6,930万円がそれぞれ含まれており、総額の対前年度比較において増額となった主な要因となっています。

また、繰入金は町税および地方交付税の減収による歳入不足に対応するため、財政調整基金から8,537万1千円の繰り入れを行ったことなどにより、前年度比1億686万5千円、562・4%の大幅な増額となりました。

繰越金については、純繰越金(前年度決算における剰余金)1億5,009万2千円に加えて、24年度か

一般会計【歳出】

庁舎用地代金1億円を
25年度で完済

らの繰越事業(旧庁舎解体撤去事業および国の緊急経済対策による交付金を活用した公共施設の老朽化等に対する改修事業)の事業費5,430万を、一般財源として繰り越したものです。

歳出については、まず目的別で見えます。

マイナス1億4,467万9千円・24・8%減)と、町民税の減収(前年度比マイナス5,522万5千円・2・0%減)とにあります。普通交付税は町税の減収を補てんするもので、前年度の町税の税収額などを基礎として算定されますが、算定に用いる24年度の税収額が23年度と比べ大幅な増収(2億860万8千円)

▽全会計の決算額

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計	56億0,036万7千円	53億5,017万8千円	2億5,018万9千円	
事業特別会計	35億8,118万3千円	33億9,618万6千円	1億8,499万7千円	
内訳	国民健康保険	16億3,841万5千円	15億4,196万5千円	9,645万0千円
	下水道	5億0,380万4千円	4億6,236万4千円	4,144万0千円
	介護保険	12億1,952万6千円	11億7,988万8千円	3,963万8千円
	後期高齢者医療保険	2億1,943万8千円	2億1,196万9千円	746万9千円
財産管理特別会計	4,352万9千円	250万4千円	4,102万5千円	
内訳	大山崎区	3,953万0千円	224万4千円	3,728万6千円
	円明寺区	386万8千円	14万0千円	372万8千円
	下植野区	13万1千円	12万0千円	1万1千円
水道事業会計	5億3,681万7千円	5億6,496万6千円	-2,814万9千円	

8・4%の増)であったことが、25年度の普通交付税が減収となった理由として挙げられます。その他特別会計では、水道事業会計のみ赤字決算となりました。

一般会計【歳入】

地方交付税が大幅減

歳入のうち、町税などの町が独自に調達できる「自主財源」が約62%、町債や地方交付税、国・府からの支出金などの「依存財源」が残りの約38%をしめています。歳入の根幹をなす町税は26億4,705万9千円で、歳入総額に占める割合は49・7%となり、前年度比マイナス5,522万5千円、2・0%の減となりました。これは、町民税のうち法人税割について、町内の大手企業の直近2カ年度の業績が比較的好調であるため、現年度課税分の回復が見られるものの、2億5,170万円の大幅な増額であった平成24年度と比べると、マイナス3,487万7千円、10・8%減となったことが主な要因です。

町税以外では、地方交付税が前年度比マイナス1億4,199万1千円、21・7%減、国庫支出金が前年度比1億6,686万7千円、43・1%増。財産収入は、マイナス9,487万7千円、10・8%減となったことが主な要因です。

また、投資的経費では、公有財産として乙訓土地開発公社から買い取りを行った土地の支払額1億円を償還し、庁舎用地取得費は完済となりました。

▽歳出を住民1人あたりで比較すると

	大山崎町	説明	向日市	長岡京市
議会費	6,514円	議会運営に関する経費です。	4,244円	3,824円
総務費	57,799円	庁舎用地代約6,522円や基金積立金約2,195円を含んでいます。	31,574円	44,332円
民生費	111,921円	2市は生活保護費を含んでいますが、大山崎町にはありません。	132,700円	122,147円
衛生費	28,972円	主に予防接種やがん検診、ゴミ処理に要する費用です。	24,766円	26,455円
労働費	1,932円		1,632円	3,337円
農林水産業費	2,580円	天王山の森林整備に関する経費を含んでいます。	998円	1,897円
商工費	1,801円		2,155円	3,298円
土木費	23,445円	主に道路やまちづくりに関する経費で、大山崎町は2市と比較して事業費が少なめといえます。	33,476円	48,830円
消防費	23,568円	乙訓消防組合の負担金のうち、均等割が約30%を占めており本町の割合が大きくなっています。	16,816円	11,978円
教育費	36,038円		38,599円	47,874円
災害復旧費	169円	台風の影響で河川敷公園が冠水したことによる復旧費です。	0円	0円
公債費	34,055円	臨時財政対策債償還費20,829円を含みます。	22,530円	25,767円
歳出決算額	328,796円		309,491円	339,740円

▽歳入を住民1人あたりで比較すると

	大山崎町	説明	向日市	長岡京市
住民税・個人	51,779円	個人の所得に応じて決まります。	51,990円	60,431円
住民税・法人	21,609円	法人の業績に応じて年度によって変動します。	6,289円	10,035円
固定資産税	個人32,367円 法人57,754円	大山崎町の場合、法人が約2/3を占めています。2市の個人・法人の区分は公表されていません。	53,820円	60,352円
軽自動車税	1,041円		1,018円	857円
たばこ税	6,746円	たばこの販売本数に応じて決まります。	6,074円	5,015円
都市計画税	0円	2市と同じ税率0.25%で試算すると大山崎町は12,398円で、そのうち法人が約1/2を占めています。	10,099円	11,626円
その他(交付税、町債など)	173,688円	臨時財政対策債21,776円を含みます。	192,372円	201,159円
歳入決算額	344,986円		321,662円	349,476円

平成25年度末住民基本台帳人口 15,453人 平成26年3月31日現在の人口に基づいて計算しています。 54,319人 80,254人

大山崎町	
町税	町民1人あたりの額 91,934円
	法人分 79,363円 (住民税・法人と固定資産税・法人の合計)
	その他(交付税、町債など) 173,688円

歳入決算額 344,986円

※借換債2億6,930万円を除いて算出

*一般会計の主な事業の決算額は次のとおりです。

- 資料館の運営に 2,133万8千円
- スポーツ振興のために(体育館運営を含む) 6,048万5千円

安全で快適なまちづくりに

- 道路の整備・改良のために 9,158万4千円
- 公園の整備・管理のために 2,673万7千円
- 皆さんの生命と財産を守るために 3億6,419万3千円
- ごみ・し尿の処理に 2億6,108万8千円
- 公害の防止のために 1,321万2千円
- 雨水による災害の防止のために 5,947万5千円

その他

- 広報、公聴の充実のために 519万3千円

こう使いました 50 億円

健康福祉のまちづくりに

- 皆さんの福祉のために 5億9,808万9千円
- お年寄りの福祉のために 3億9,629万3千円
- 子どもの福祉のために(保育所運営を含む) 7億4,649万6千円
- 皆さんの健康のために(保健センター運営を含む) 1億2,824万6千円

生涯学習のまちづくりに

- 学校教育のために 1億9,674万8千円
- 社会教育の推進のために(公民館運営を含む) 9,591万7千円
- 留守家庭児童会事業に 5,266万6千円
- 文化財の保護と振興のために 2,982万5千円

▽財政状況を表す各指標の推移

	H25	H24	H23	H22	早期健全化基準	
健全化判断比率	①実質赤字比率	-	-	-	-	15.0%
	②連結実質赤字比率	-	-	-	-	20.0%
	③実質公債費比率(3年平均)	14.0%	13.0%	10.8%	9.2%	25.0%
	④将来負担比率	62.3%	71.4%	86.9%	101.6%	350.0%
その他の指標	⑤財政力指数(3年平均)	0.814	0.814	0.860	0.898	
	(単年度)	0.837	0.787	0.819	0.836	
	⑥実質収支比率	2.9%	4.1%	3.7%	4.3%	
	⑦経常収支比率	97.0%	90.5%	97.1%	92.6%	

【用語解説】

- ①実質赤字比率…地方公共団体の最も主要な会計である「一般会計」などに生じている赤字の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものの。
- ②連結実質赤字比率…水道事業などの公営企業を含む「地方公共団体の全会計」に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものの。
- ③実質公債費比率…地方公共団体の借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものの。18%以上だと、新たな地方債借入をするために国や都道府県の許可が必要になり、25%以上だと借入を制限される。
- ④将来負担比率…地方公共団体の借入金(地方債)など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものの。
- ⑤財政力指数…地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額(標準的な地方税収)を基準財政需要額(行政事務の必要経費)で割ったもの。財政構造の柔軟性を表し、数値が高いほど自主財源の割合が高く財政状況に余裕があるといえる。
- ⑥実質収支比率…その年度の実質収支額を標準財政規模で除して得られる比率で、普通3%から5%程度が望ましいとされている。
- ⑦経常収支比率…地方公共団体の財政構造の柔軟性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充てられる一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)と減税補てん債および臨時財政対策債を合計した額に占める割合。この比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表す。

財政指標等の状況について

将来負担比率が軽減

自治体の財政状況を表す指標として、健全化判断比率があります。これは、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化

や再生の必要性を判断するためのものとして、4つの財政指標を定めています。

- ①実質赤字比率
 - ②連結実質赤字比率
 - ③実質公債費比率
 - ④将来負担比率
- これら2つについては、全会計において実質赤字額がないため該当がありません。
- 過去3年の平均値は14.0%です。
- 本年度の数値は62.3%(前年度)

乙訓二市一町を比較すると…

決算書の金額をそのまま見比べても分かりにくいので、住民1人あたり置き換えて比較します。これらは乙訓二市一町の平成25年度地方財政状況調査(決算統計)の数値を、年度末住民基本台帳人口で割った金

額を比較したものです。普通会計(一般会計に、長岡京市のみ乙訓休日応急診療所特別会計を加えたもの)間で比較したもので、公営事業会計(国民健康保険事業等の特別会計や水道事業会計)は含まれません。

より9.1%改善)。土地開発公社への庁舎用地取得費を完済したことで将来への負担が軽減されました。

収支比率については、前年度90.5%が今年度97.0%と、硬直化が進みました。経常一般財源の根幹となる町税・普通交付税の減収が主要因です。